

## 1. 暴力行為

令和4年10月  
津山市教育委員会学校教育課

### 1 調査結果

【暴力行為】		小学校			中学校		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
全国	件数	43,614	41,056	<b>48,138</b>	28,518	21,293	<b>24,450</b>
	1,000人当たり発生件数	6.8	6.5	<b>7.7</b>	8.8	6.6	<b>7.5</b>
岡山県 (国公立)	件数	523	523	<b>488</b>	656	507	<b>442</b>
	1,000人当たり発生件数	5.2	5.3	<b>5.0</b>	12.8	9.9	<b>8.6</b>
津山市	件数	11	7	<b>5</b>	7	16	<b>9</b>
	1,000人当たり発生件数	2.1	1.3	<b>1</b>	2.6	6.0	<b>3.4</b>

※「1,000人当たりの発生件数」：発生件数計÷在籍児童（生徒）数×1,000

### 2 本市における現状

- ・暴力行為の発生件数については、前年度と比べ、小学校で2件減、中学校では7件減であった。
- ・暴力行為の内訳では、生徒間暴力が小学校で4件、中学校で5件。対教師暴力が小学校1件、中学校4件であった。
- ・1000人当たりの発生件数で見ると小・中学校ともに、全国及び県を3年連続下回っている。
- ・学校警察連絡室との連携を促進し、積極的に小中学校訪問を依頼している。また、中学校区での規範意識向上モデル校の取組が定着してきていることが減少している要因と考えられる。
- ・全国学習状況調査結果より、「自分には、よいところがある」と肯定的に回答している児童生徒の割合が増加しており、学校内で活躍したり認められたりする取組が進んできている。

### 3 今後に向けて

#### 教育委員会の取組

- ・暴力行為につながる事案が発生した場合には、その情報を学校警察連絡室や育成センター等の関係機関と共有し、重大な事態に至る前の早期対応に取り組んでいく。
- ・暴力行為の発生状況について定期的に学校へ聞き取りを行い、発生した事案については、その原因と背景を読み解き、再発防止に向けて学校へ助言を行う。

#### 学校の取組

- ・日頃から落ち着いた学習環境を整備するとともに、児童生徒に寄り添った生徒指導に努める。
- ・暴力事案やそれにつながるような事案が発生することを想定し、校内指導体制の不断の見直しを常に行うとともに、全教職員で児童生徒の状況について共通理解を図りながら一貫した指導を行う指導にあたる。
- ・児童生徒が、暴力行為を繰り返すことがないように、学級担任を中心に児童生徒の日頃の様子を丁寧に把握し、家庭訪問や保護者との面談などにより連携を図るなど、児童生徒理解に基づいた丁寧な対応を進める。

## 2. いじめ

### 1 調査結果

【いじめ】		小学校			中学校		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
全国	認知件数	484,545	420,897	500,562	106,524	80,877	97,937
	1,000人当たり認知件数	75.8	66.5	79.9	32.8	24.9	30.0
	いじめの解消率 (%)	83.6	77.5	80.4	81.5	76.9	79.1
岡山県 (国公立)	認知件数	2,268	1,877	4,094	1,038	775	1,538
	1,000人当たり認知件数	22.65	18.98	41.78	20.47	15.29	29.94
	いじめの解消率 (%)	73.5	68.2	71.4	81.5	71.0	69.0
津山市	認知件数	127	93	91	84	52	78
	1,000人当たり認知件数	23.73	17.86	17.75	30.78	19.47	29.56
	いじめの解消率 (%)	62.2	60.2	53.9	63.1	48.1	64.1

※「1,000人当たりの認知件数」：認知件数÷児童生徒数×1,000

### 2 本市における現状

- いじめの認知件数は、前年度と比べ小学校が2件減、中学校が26件増であった。中学校で増加しているのは、SNSによるトラブル、いじめアンケートや教育相談など、積極的な認知を行っていることも増加の要因とも考えられる。
- いじめの態様については、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」が、小中学校ともに多くを占めている。
- いじめの解消率は、小学校が53.9%、中学校が、64.1%でいずれも県を下回っている。いじめを認知した際、本市では、丁寧に保護者及び児童生徒に聞き取り、関係機関と連携しながら不安解消まで見守りと指導をおこなっているため、容易に「解消」としていないことも一因と考えられる。

### 3 今後に向けて

#### 教育委員会の取組

- 「津山市いじめ問題対策基本方針」に沿った組織的な対応になっているか生徒指導担当者会などで関係機関と共に確認し、再発防止に努める。
- 教育相談アドバイザーが直接保護者から相談を受けた内容や、各校から提出される「いじめ状況調査」をアドバイザーと情報共有や状況把握を行い、学校へ個々の事案について丁寧な聞き取りをするなど、組織的な対応を行う。

#### 学校の取組

- 授業や学校行事など学校教育活動全般を通じて、教員や子ども同士で認め合う言葉かけや、振り返りシートを活用するなど、自分の役割や活躍を実感できる機会を設け、自己肯定感を育み、自分も他人も大切にできる児童生徒の育成に努める。
- 学校生活の中で、担任や養護教諭等が見取った児童生徒の変化や個別に把握した気になる情報については、校内で定期的に開催する生徒指導委員会等を通じて、学校全体で情報共有する。
- いじめを積極的に認知し、「学校いじめ問題対策基本方針」に基づいた丁寧な対応を行う。
- 「いじめ防止啓発月間（6月）」には、いじめ問題を自分たちの問題と捉え、いじめをしない、させない、放置しないための主体的な取組を推進する。

### 3. 長期欠席・不登校

#### 1 調査結果

【長欠・不登校】		小学校			中学校		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
全国	長期欠席者数	93,058	113,746	<b>180,875</b>	162,736	174,001	<b>232,875</b>
	うち、不登校	53,350	63,350	<b>81,498</b>	127,922	132,777	<b>163,442</b>
	不登校出現率(%)	0.83	1.00	<b>1.30</b>	3.94	4.09	<b>5.00</b>
岡山県 (国公立)	長期欠席者数	1,870	2,193	<b>3,012</b>	2,977	3,103	<b>4,015</b>
	うち、不登校	909	933	<b>1,146</b>	1,746	1,667	<b>1,992</b>
	不登校出現率(%)	0.91	0.94	<b>1.17</b>	3.44	3.25	<b>3.88</b>
津山市	長期欠席者数	99	118	<b>134</b>	177	183	<b>212</b>
	うち、不登校	66	56	<b>50</b>	109	76	<b>93</b>
	不登校出現率(%)	1.23	1.08	<b>0.98</b>	3.99	2.85	<b>3.52</b>

※「不登校出現率(%)」：不登校児童(生徒)数÷在籍児童(生徒)数×100

※長期欠席者については、従来、年間30日以上欠席した児童生徒が対象であったが、令和2年度から、「欠席日数」に「出席停止・忌引き等の日数」を合計して30日以上登校しなかった児童生徒が対象となっている。

#### 2 本市における現状

- ・長期欠席者のうち、不登校を理由とするもの(何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒本人が登校しない、あるいはできない状況にあるもの。ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く。)は、前年度と比べ、小学校が6人減、中学校が17人増であった。
- ・不登校出現率で見ると、小中学校共に、県を下回っている。しかし、長期欠席者数は増加傾向にあり、各校における一人ひとりの状態や背景に合わせた丁寧な関わりを今後も継続していく必要がある。

#### 3 今後に向けて

##### 教育委員会の取組

- ・「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」に基づいて作成した支援対象者リストを活用し、児童生徒の状態変化を確認しながら、長期欠席・不登校対応に取り組むことを各校へ引き続き徹底していく。
- ・「津山市新たな居場所(別室)」において、支援員による個々の状況に応じた学習・生活支援体制を整える。また、津山市新たな居場所連絡協議会を開催し、SC/SSWなどの専門機関と連携した校内支援体制を充実させる。さらに、個に対応した支援を可能とする取組事例を市内各校へ広げていき、市内全体の長期欠席・不登校対策を進める。

##### 学校の取組

- ・定期的なアンケート調査等により、学校生活における満足度や人間関係等、年間を通じて児童生徒一人ひとりの丁寧な状態把握に努める。
- ・支援対象者リストを活用し、個々の児童生徒の状態の変化を重視した対応を全教職員で徹底する。その際、学びの場の確保や学校、教室復帰に向けた支援など、具体的な手立てを鶴山塾等、関係機関との連携を視野に入れ、検討する。
- ・迅速かつ適切な対応ができるよう、欠席3日までの対応(連絡、本人の状況把握、家庭訪問)について教職員間で共通理解を行う。